

製本のススメ

Vol. 6

いよいよ夏の到来ですね 年々気温が上がって 40℃などというニュースもちらほら。ヒートアイランド現象も他人事ではなくなりました。最近電化店では扇風機の売れ行きが好調とか…。自然の力を上手に使うって、エコな夏をすごせると良いですね。

今回は中綴じのお話（1回目）

中綴じ製本は 頁の開きが良く短時間での製本が可能ですが デザイン性の高い物も多く 気の抜けない仕事です。しかし いくら中綴じ製本でも、短納期に対応できる印刷でなければ、返って手間がかかり仕上りも悪いと言う事がしばしば起こります。そこで製本側から見た注意点を何回かにわけて、お話しましょう。

まず 早く仕上げる為に必要な事は**印刷位置を用紙の片側へ寄せること**です。
(これを裏長と製本では呼んでいます(中央から後)本文の後半頁の用紙の方が大きいからです)
用紙の中央に刷ればイイなんて 素人みたいな事を言っている場合じゃありません!
では**左アキの4頁(二つ折り)**を例にとって説明いたしましょう。



版は用紙の左側へ寄せます 二つ折りにしたところ 余白部分をアームが掴む
これが製本時間を短縮する大きなポイント!

(但し16頁は 用紙の中央を広く開けます これは次回ね)

片側へ印刷を寄せたことで、用紙に余白ができ その部分を中綴じの機械アームがつかんで、作業に入るわけです。むろん、用紙に余裕が無いこともありますので、その際はアームを使わず、印刷機の様子でエアで吸い上げるわけですが、所詮は吸い上げるわけですから、スピードも上げられません。

短納期に対応するには、それなりに版付けから考えないと、製本だけでは対処しきれない事が多いのです。



Tea break

暑い季節 爽やかな炭酸飲料は美味しいですね。炭酸には血管や消化器官を広げて血液の循環や消化を助けたり、体内をアルカリ性に保つという働きがあります。また気泡が出るタイプの入浴剤は、皮膚から吸収された炭酸が血行を良くしてくれるそうです。冷たい飲み物で体のほてりを抑え食欲が無い場合には手軽に糖でエネルギー補給することができちゃいますね。

by (株) 井関製本